「天の川」プロジェクト

提案団体：金曜ゆめ倶楽部
代　表　者：医療福祉学科　２年　盆子原　郁巳
顧　　問：医療福祉学科　教授　加賀谷　有行

✎実施計画

実施期間：２０１３年６月２４日（月）～２０１３年７月１０日（水）
計画概要：【６月４日（月）】七夕の飾りつけを作成する。
【６月２８日（金）】東広島キャンパス各号館に竹笹を各号館に設置し、短冊を準備する。
【６月２８日（金）～７月７日（日）】学生と教職員が短冊を飾る。
【７月１０日（水）】竹笹を撤去する。
奨励金額：１０,６６６円
活動目的：昨年度、七夕の時期に学生課の方が竹笹を設置していた。しかし、今年度は私たち学生も一緒に設置や飾りつけの作成を行い、七夕を学生・教職員全員で楽しめるイベントにするため、『天の川』プロジェクトを実施したい。
達成目標：学生・教職員の親睦を深めるとともに学内がにぎわうような楽しいイベントにする。

✎活動・成果報告

６月２４日（月）七夕の飾りつけを作成し、６月２８日（金）に東広島キャンパス各号館に竹笹を設置し、飾りつけ、短冊の準備を行った。その後、学生と教職員が協力し、飾りつけを行った。イベントの開会にあたっては夏の交通安全イベントを行った。それぞれの七夕には、学生・教職員をはじめ多くの方々がメッセージを書き、短冊をつけていただけ、大変賑わいのある展示物となり、大成功であった。７月１０日（水）の七夕を終え、竹笹を撤去して短冊を回収した。なお、短冊は冬に地域で行われる「とんど」へ持込みそれぞれの思いを天に届けた。

✎成　長　度

１．どのような課題に直面し、（それを乗り越えるために）どんな苦労がありましたか。

部員が３人しかいないため、短期間で多くの飾りつけを作成するという点に課題があった。また、イベント中に交通安全運動の啓蒙活動とのコラボ企画が持ち上がった際、金曜ゆめ倶楽部代表として人前で話すことになったり、ビラ配りを経験するなど、初めてのことに戸惑うことが多かった。

２．その課題をどのような努力や工夫で乗り越えましたか。

飾り付けを作製するボランティアを募集し、学生ボランティアの方々や学生課の方に手伝っていただくことで、３日間という短い準備期間であったが、予定していたより多くの飾りを作ることができた。また、その作業を近くで見ていた学生が手伝ってくれるなど、さまざまな輪が広がった。

３．自分たち（チーム）が一番成長したところはどこですか？理由もお願いします。

七夕開会式の時に実施した「交通安全運動の啓蒙活動」との合同企画は、初めての経験であったが肩の力

を抜いて楽しくスピーチでき、イベントを楽しむことができた。また、短冊を配る際、話したことのない学生にも積極的に話しかけ、協力を呼びかけることができ、初めてのことに挑戦する積極性を学ぶことができた。

✎構成メンバー

医療福祉学科　２年　盆子原　郁巳
医療福祉学科　２年　岡本　夏菜、木村　志帆